

観光ビジネス拡大へBtoB強化 「ツーリズムの新しいカタチ」目指す

公益社団法人日本観光振興協会（日観振）とJATA、日本政府観光局（JNTO）は9月21日から24日までの4日間にわたり、今年で4回目となる「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2017」を東京・有明の東京ビッグサイトで開催します。今年からJNTOが主催者に加わり、文字通り、海外旅行・国内旅行・訪日旅行の三位一体が実現したTEJ2017は、過去3回の実績も踏まえてBtoB機能の強化などを前面に打出し、第2ステージの新たな段階を迎えます。

国内・アウトバウンド商談会では、商談の質量の拡充とネットワーク強化を図る施策が実施されるほか、訪日手配を取り扱うツアー商談会が新設され、訪日手配を取り扱うツアーオペレーター品質認証制度登録旅行会社などがバイヤーとなり、国内自治体や国内サプライヤーと商談を行います。

展示会でも商談環境を整備してBtoBの強化を図り、「展示会」から「展示商談会」へ進化し、出展ブースで様々な業界関係者と出展者が商談を行い、ビジネスの場としてのネットワーク機会を提供します。

【商談会】 質量拡充しネットワーク強化

2014年から2016年の第1ステージを経たTEJは、2017年からの第2ステージではBtoBの強化・完成を図

り、観光ビジネスの開拓拡大の促進を目指します。

訪日ランドオペレーター商談会にバイヤーとして参加を予定しているエイチ・アイ・エス訪日事業本部関東事業グループ・BtoB事業グループの関直樹グループリーダーは、「単に情報を収集するだけでなく、何か新たな発見ができれば」と商談会への期待を表明。「安全やコンプライアンスの部分もカバーしながら、商材を提供してもらっただけでなく、一緒に新しいものを作り上げていけるようなパートナーを見つけることも、商談会に参加する重要な側面の一つ。造成側がワクワクするようなコンテンツを創らなければ、コンシューマーには響かない」と関グループリーダーと意欲を示しています。

エストニア政府観光局、ラトビア投資開発公社、リトアニア政府観光局の日本代表を務めるフォーサイトマーケティングの能登重好代表取締役は、エストニアとラトビアなど

が取り組んでいる「田園ツーリズム」というテーマ観光について展示商談会で旅行会社やツアーだけでなく、テーマを軸に各国を訪れる新たなツアーの商品開発も促したいと考えています。

「単に情報を収集するだけでなく、何か新たな発見ができれば」と商談会への期待を表明。「安全やコンプライアンスの部分もカバーしながら、商材を提供してもらっただけでなく、一緒に新しいものを作り上げていけるようなパートナーを見つけることも、商談会に参加する重要な側面の一つ。造成側がワクワクするようなコンテンツを創らなければ、コンシューマーには響かない」と関グループリーダーと意欲を示しています。

【海外展】 注目のバルト三国を特集展開

海外部門の展示では、「海外旅行の復活」に向けて、新たなアステイネーションとして日本市場でも注目されているバルト三国のブースが特集展開されます。

フォーサイトマーケティングの能登代表取

締役は、「日本では1991年にバルト三国が再独立した時のイメージを持っている方が多いが、その後の発展は目覚ましく、再独立当時とは全く違う雰囲気になっている」と指摘。「そうしたバルト三国全体のプロモーションを底上げすると同時に、それぞれの国についても独自の特徴について理解を深めてもらえるようにしたい」と語っています。

バルト三国それぞれの特徴をアピールするために、リトアニアからは合唱団、ラトビアからは民族楽器・クアクレのプレーヤーも来日して演奏を披露するほか、ブースでは業界のキーパーソンによるパネルディスカッションや国別のセミナーも実施される予定です。

能登代表取締役は、「3つの国がそれぞれに首都以外にも特色のある地域が多く、旅行業界の皆さんにはスケールメリット型のビジネスモデルではなく、ユニークな素材を活かした付加価値の高い商品づくりによって、高収益を実現できるアステイネーションとしてもバルト三国に注目していただきたい」と訴えています。

また、ブース出展する旅行会社の間でも様々な工夫が凝らされることとなります。

エイチ・アイ・エスでは、カナダのオーロラツアーをブースで体験してもらう仕掛けを計画。同社関東販売事業部営業販売チームの久根下雅大氏によると、VR（バーチャルリアリティ）によるオーロラの映像を見るだけでなく、実際に極寒の現地での環境も体感してもらおうと、氷点下30度まで設定できる冷凍コンテナを用意する予定です。

「ベンチコートを着て、冷凍コンテナの中でVRのオーロラを見ることで、実際にカナダ



中世ドイツ風の街並みが残るエストニアの首都・タリン旧市街 ©Visit Estonia



ラトビアの首都・リガ旧市街の市庁舎広場とブラウヘッドの会館



リトアニア・ガルヴェ湖の島の上に建つトゥラカイ城



パリで人気のグルメバス「パストロノーム」



日本遺産「日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～」(2017年4月認定)

へ行つてみたいという動機に繋げることができれば(久根下氏)

同社では、パリで人気のグルメバス「パストロノーム」で貸切ランチのプランも実施しており、バストロノームの車内をイメージした展示ブースで、VR体験してもらうことにしています。

「ジャパン・トラベル・マンズ」文化庁は「日本遺産」をテーマに出展

「見つけよう。旅の『新しいカタチ』」をテーマに掲げるTEJ2017は、観光文化庁・スポーツ庁の3庁との連携による「ジャパン・トラベル・マンズ」(9月21日～11月3日)のキックオフを飾る中核イベントとしての役割も担う形となります。

今年の「ジャパン・トラベル・マンズ」は、新たに環境省も参画し、「スポーツ、文化そして、自然を感じて旅する秋」をテーマに、TEJの主催3団体と3庁、環境省の7

団体で連携をさらに強化する方針です。

TEJ2017における国内部門の展示会場では、文化庁が日本遺産を集合的に紹介し、一般来場者と業界来場者の双方に向けて、新たな観光資源・観光素材としての日本遺産の意義や魅力を積極的にアピールする予定です。

文化庁文化財部記念物課の佐藤宏之企画調整係長は、TEJ2017への出展について、「今年度の『ジャパン・トラベル・マンズ』における取り組みの重点項目として日本遺産も位置付けられており、観光機運醸成という目的に最も合致するTEJ2017で日本遺産を紹介することになった」と説明しています。

日本遺産は、地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で欠かせない有形・無形の様々な文化財群を、地域が主体となつて総合的に整備・活用して、国内だけでなく

海外へも戦略的に発信し、内外からの旅行流動を通じて地域の活性化を図ろうというものです。

「今年度に新たに認定された17件を中心に、3カ年度で54件となった日本遺産は、認定地域を訪れてもらうことで理解を深めていただけたらと思う。日本の歴史や文化の魅力を再発見・再認識する新たな旅の切り口ともなりうるもので、TEJ2017のテーマである『旅の『新しいカタチ』』と重なり合うと考えている」(佐藤企画調整係長)

「主催者企画」「産業観光」で国内観光を活性化

旅行形態の変化や旅行者ニーズの多様化が進む中で、テーマ性が強く体験型・交流型の要素を取り入れた「新しいカタチ」の観光として、いわゆる「エコツーリズム」への関心が改めて高まっていますが、エコツーリズムやグリーンツーリズム、ヘルスツーリズムなどとともに産業観光にも注目が集まっています。

TEJ2017では、リピーター率も高く日本各地で取り組みが可能な産業観光について、日本の近代化を支えた産業遺産、日本のモノづくりを支える匠の技、世界的に評価されている最先端技術など、様々な産業に対する知的好奇心を満たすコンテンツと捉え、国内部門の展示会場で主催者企画として特集ブースを展開。「より深い旅」「もっと知りたくなる旅」として産業観光を紹介し、旅行者への周知や国内旅行の活性化を図ります。

地方自治体や国内の産業観光団体・企



「ものづくりの街」として産業観光の振興を図る北九州市

業などのコンテンツが集約される形となる産業観光特集企画に出展する北九州市は、「観光地としてよりも、世界遺産にも登録された官営の八幡製鐵所の開業以来のものづくりの街としての知名度が高いことから、産業観光の街としてのイメージを訴えたい(経済産業局観光にぎわい部観光課)考えです。

同市観光課の泊圭子環境ものづくり担当係長は、「まだ募集型の旅行商品として難しい面もあると思うので、企業の視察旅行や学校の教育旅行などのテーマとして関心を持つていただけたら、積極的に情報提供を行つて体制も整えていきたい」と説明。

「業界の皆さんと直接話ができるので経済効果に直結することも見込まれる一方で、一般の方に産業観光がどのくらい認知されているのかを知りたいとも思っており、業界と一般の双方にアプローチできるTEJは貴重な場と考えている」と語り、初出展への期待を示しています。

主催団体トップ3氏からのメッセージ

世界のツーリズムをリードする総合観光イベントとして2014年にスタートした「ツーリズムEXPOジャパン (TEJ)」。今年からは、日本旅行業協会 (JATA) と日本観光振興協会に加えて、日本政府観光局 (JNTO) が主催団体として名前を連ね、新たな観光ビジネスの創出と発展を目指す第2ステージに入ります。主催3団体のトップ3氏に、「TEJ2017」への期待と意気込みを語っていただきました。

※この記事は、観光経済新聞社が企画した座談会を、本誌が独自に構成したものです (写真提供: 観光経済新聞社)

旅の新しいカタチの創出を

田川博己

日本旅行業協会 (JATA) 会長

昨年までの3年間の第1ステージでB to Cは形ができあがりました。今年からの第2ステージでは、B to B機能の強化を目指します。出展者も旅行会社もそれぞれの役割と強みを認識し、自らの考え方や思いを積極的に訴えていただきたいと思えます。B to Cの場面では、観光地や旅行商品の魅力をお客様が感じ取ってくださるので、「キャッチャー」的なスタンスでもビジネスは出来ます。しかし、B to Bの場面になると、「ピッチャー」的なアプローチで相手のニーズに合わせて能動的に企画提案をしなければビジネスを成立させるのは難しくなります。

「TEJ2017」では、お客様向けには「見つけよう。旅の『新しいカタチ』」。B to Bでは「創ろう。ツーリズムの『新しいカタチ』」。というメッセージを掲げています。時代が変わる中で、旅やツーリズムの「新しいカタチ」を追求しているという事です。サブライヤーも旅行会社も、パンフレットを並べていけば良いという時代ではありません。今回の出展では体験なども含めて、観光地や旅行商品の魅力を網羅的に発信する工夫が凝らされます。また、展示会場で「商談」するしつらいとなっています。自らが関係する



ブースだけでなく、展示会場をくまなく見ていただき、「新しいカタチ」の創出について考えるヒントをつかんで欲しいと思います。

実り多い具体論を目指す場に

山口範雄

日本観光振興協会会長

人口減少や地方創生への取り組み、多様化する旅行需要への対応、インバウンドの拡大も踏まえた2020年以降への準備、グローバル競争の克服など、ツーリズムが直面する課題への対処を実り多い具体論とするためには、観光産業における様々なレベルでの連携を進めなければなりません。異業種との連携や地域との連携も必要ですし、地域間における自治体同士の連携なども求められています。また、自動車産業に匹敵すると言われるほど裾野の広い観光産業に動く皆さんは、もっと誇りを持って仕事をすべきです。GDPに占める観光産業の割合などの数字も議論されるようになってきているわけですから、日本経済を担っているという自負を持つて良いと思えます。さらに、米国におけるランプ現象や欧州における英国のEU離脱など、保護主義的あるいは内向きの方向に世界が動き始めている中で、観光産業は、草の根レベルでポーターレスに旅をしたり物事を考えたりする機会を通じて、人類共通の価値観を形成する役割も果たしています。相互理解や世界平和の実現に向けて大きく貢献できるのです。観光産業を担う関係

者が力を合わせて実り多い具体論を目指す貴重な場である「TEJ2017」への積極的な参画をお願いしたいと思います。



者が力を合わせて実り多い具体論を目指す貴重な場である「TEJ2017」への積極的な参画をお願いしたいと思います。

「三位一体」でB to Bを加速

松山良一

日本政府観光局 (JNTO) 理事長

今年から「TEJ」の主催者として名前を連ねることになり、大変に光栄です。B to Bの強化という方向性を打ち出している「TEJ」は、JNTOの参画によって海外旅行・国内旅行・訪日旅行という「三位一体」のイベントとなり、B to Bという方向性を加速させる大きなトリガーとして機能したいと考えています。訪日インバウンドが急速に増加する中で、観光をビジネスとして本格的に確立していくために、どうすればいいのか。関係者がそれぞれの持ち場で強みを発揮しつつ連携してビジネスを拡大していくことを考える節目のタイミングを迎えています。「TEJ2017」の期間中には日本経済新聞社との共催により、観光をビジネス題材とする展示会「インバウンド・観光ビジネス総合展」が「TEJ2017」のフェアinフェアとして開催されます。これからインバウンドをビジネスにしようと考えている皆さんが沢山集まってくるから、様々な形で新たな連携の可能性も広がると考えています。訪日インバウンドという人の流れが拡大する中で、新しいニーズも発生していますから、

観光産業を日本の基幹産業に育てていくという気概を持って、皆さんと一緒に取り組めることを大変嬉しく思います。



観光産業を日本の基幹産業に育てていくという気概を持って、皆さんと一緒に取り組めることを大変嬉しく思います。

参加しないと損する

9月22日(金) 業界日限定

注目のプロフェッショナル・セミナー



昨年のプロフェッショナル・セミナーで講師の話に耳を傾ける参加者ら

「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2017」では9月22日(金)、東京ビッグサイトの東展示棟で、業界日限定プログラムの「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」を実施します。観光産業に携わる皆さんに一流のプロフェッショナルとなっていただけよう企画されたセミナーです。奮って、ご参加ください。

国内・訪日旅行担当者向け

◎**タイトル** 貸切バスの運賃・料金制度等と国内募集型企画旅行における貸切バス会社名の表記に関する説明会

◎**概要** 国土交通省自動車局、観光庁が旅行者等との関係強化や運賃・料金制度について説明し、また国内募集型企画旅行における貸切バス会社名の表記についてJATA法務コンプライアンス室が説明します

◎**詳細** 講師：国土交通省自動車局、観光庁、JATA法務コンプライアンス室内山信夫副部長／会場：Aステージ 東1ホール／時間：10：30～12：30／収容人数：300人

◎**タイトル** 新しい通訳案内士制度とランドオペレーター登録制度について

◎**概要** 地方誘客促進のための受入環境の充実と旅行の更なる安全確保を目指すための措置について説明します

◎**詳細** 講師：観光庁観光地域振興部観光資源課 蔵持京治課長／会場：Bステージ 東3ホール／時間：10：30～12：30／収容人数：150人

◎**タイトル** 日本版DMOセミナー 日本DMOの機能と課題～山陰インバウンド機構の現場から～

◎**概要** 全国で設立が進められている日本

版DMOの機能と課題について解説します
◎**詳細** 講師：山陰インバウンド機構・福井善朗代表理事／会場：セミナールーム12 東5ホール1階 主催者事務局／時間：14：30～16：00／収容人数：51人

◎**タイトル** JATAインバウンドシンポジウム 文化庁、環境省の挑戦！～COOLな日本の宝 日本遺産、国立公園で観光先進国を目指す～

◎**概要** 松本大学の佐藤名誉教授をモデレーターに迎え、シンポジウム形式で「日本遺産、国立公園」の取り組み等を紹介

◎**詳細** モデレーター：松本大学 佐藤博康名誉教授 パネラー：環境省国立公園推進室谷垣智子室長補佐、文化庁担当者、パナラット・キヤット氏(プロガーレポーターライター・タイ語教師)、JTB GMT西日本営業部・グレイベ・トーベン氏／会場：Japanステージ 東4ホール／時間：10：30～12：30／収容人数：150人

海外旅行担当者向け

◎**タイトル** 親日家、ラグアイ～豊かな自然と文化、訪れると幸せになれる国の魅力を発見！～

◎**概要** 近年ブームの日本人移住地、大自然、ラグアイグレス、文化などを紹介

◎**詳細** 講師：マルセラバシガルポパラダ

アイ観光大臣／会場：セミナールーム2 東4ホール2階 商談室(3)／時間：10：00～11：00／収容人数：42人

◎**タイトル** 海外教育旅行・留学マーケットにおける安全対策セミナー

◎**概要** 修学旅行・語学研修・留学ツアー等において取り組むべき海外安全対策の重要ポイントを紹介

◎**詳細** 講師：外務省領事局海外邦人安全課 伯耆田修邦人援護官、JATA海外旅行推進部 村井秀彰副部長／会場：セミナールーム11 東3ホール1階 主催者事務局／時間：10：30～11：30／収容人数：51人

◎**タイトル** ロシア・アステイネーションセミナー

◎**概要** 来年はサッカーワールドカップや「ロシアにおける日本年」で盛り上がるロシアの隠れた魅力を紹介

◎**詳細** 講師：ロシア旅行サブライヤー関係者／会場：セミナールーム11 東3ホール1階 主催者事務局／時間：14：00～15：30／収容人数：51人

お客様対応者向け

◎**タイトル** 苦情対応入門～クレームは怖くない～

◎**概要** 旅行トラブルのワースト5(取消

ツーリズムEXPOジャパン2017 開幕直前特集

他にも見逃せないセミナーが続々

<p>〈Aステージ〉 15:00～16:30 ◎旅の安心・安全を支える「現場力」を考える</p>	<p>輝き続けるために～キラキラ女子のサクセスストーリー～ 16:30～18:00 ◎フランスの美しい村々と地方の魅力</p>
<p>〈Bステージ〉 12:30～14:00 ◎海外卒業旅行企画コンテスト2017 ～地方空港出発“学生と旅行会社でつくる”海外企画旅行～ 14:30～15:30 ◎観光立国の鍵を握る地方都市～戦略的2WAYツーリズムのシナリオとは?～</p>	<p>〈セミナールーム7〉 09:30～10:30 ◎海外教育旅行セミナー 14:30～16:00 ◎ブータンの魅力再発見</p>
<p>〈Japanステージ〉 13:00～14:00 ◎インバウンドに向けたデジタルマーケティング3.1(仮) ①地域が稼ぐためのデジタルマーケティングについて ②「せとうちにおけるデジタルを活用したインバウンド戦略」</p>	<p>〈セミナールーム9〉 09:30～10:30 ◎海外インセンティブセミナー</p>
<p>〈セミナールーム2〉 11:30～13:30 ◎Meet Colors! 台湾一カラフルな台湾を探しに行こう!最新情報 14:00～15:30 ◎イラン観光セミナー 16:00～17:30 ◎中央アジアの魅力</p>	<p>〈セミナールーム10〉 15:00～15:50 ◎国内観光動向のデータを科学的に読み解く～観光地域づくりに必要な基礎データ×位置情報ビッグデータ(KDDI・コロプラ)×宿泊ビッグデータ(観光予報プラットフォーム)～</p>
<p>〈セミナールーム3〉 13:30～14:30 ◎岩手県/復興、そして新しい三陸を目指して～みちのく潮風トレイルや再開した龍泉洞への誘い～ 15:00～16:00 ◎秋田県/爽快 世界遺産白神山地、五能線癒しの旅へ 16:30～18:00 ◎農林水産省/新しい旅のスタイル＝「農泊」で新たな需要を開拓!</p>	<p>〈セミナールーム11〉 12:00～13:30 ◎旅の力で若者を動かす!～さとり世代のハートに火をつけるには?～ 16:00～17:30 ◎キューバセミナー</p>
<p>〈セミナールーム4〉 14:30～16:00 ◎関東支部 LADY JATA/旅行業界で</p>	<p>〈セミナールーム12〉 12:40～14:10 ◎環境省/世界の宝 日本の国立公園を再発見!～あなたは、その物語を知ってますか?～ 16:30～18:00 ◎文化庁/歴史・文化が織りなすストーリー「日本遺産」～観光商品化の可能性～</p>
	<p>〈セミナールーム13〉 10:00～12:00 ◎黒海沿岸地域の魅力 14:00～15:30 ◎日本の「隅隅」へ、さらにその先へ…。ポーターツーリズムの魅力。</p>

◎タイトル 元国税査察官が語る税務調査への対応

経理担当者向け

料、手配内容、申込み/契約、パスポート/ビザ、情報提供)の対処法を伝授します*
テキスト代1000円が必要になります
◎詳細 講師: JATA 消費者相談室・江本俊一郎 副部長/会場: セミナールーム5 東5ホール2階 商談室(3)/時間: 10:00～11:00/収容人数: 42人

◎タイトル 広報会議元編集長が語る「ツーリズム産業」広報はどうすればいい!?

広報担当者向け

◎概要 税務署と税務調査の実態を理解して税務調査への不安を払拭します
◎詳細 喜屋武博 税理士(元国税庁国税局査察部)/会場: セミナールーム5 東5ホール2階 商談室(3)/時間: 16:00～17:30/収容人数: 42人

◎タイトル 旅行業界における女性の活躍推進～女性の心にハマる施策とリソース

人材・総務担当者向け

◎概要 元辣腕編集長が、ツーリズム関連産業の広報担当向けに初めてお話しします
◎詳細 講師: 月刊『広報会議』編集主幹(元編集長)・上条慎氏/会場: セミナールーム6 東5ホール2階 商談室(4)/時間: 16:00～17:30/収容人数: 42人

セミナーへの参加登録は、「ツーリズムEXPOジャパン2017」への事前来場登録を完了した後に、ご希望のセミナーを選択して行っていただくこととなります。

セミナーへの参加登録は、「ツーリズムEXPOジャパン2017」の公式サイトで

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナーへの参加登録は、「ツーリズムEXPOジャパン2017」への事前来場登録を完了した後に、ご希望のセミナーを選択して行っていただくこととなります。

◎概要 旅行業界全体における女性の活躍を推進するための方策を基調講演も踏まえ、パネルディスカッション方式により検証していきます

◎詳細 基調講演「社会における女性活躍推進の現状、建前と本音について」講師: 学校法人 国際文化アカデミー (JTBトラベル&ホテルカレッジ) 坂本友理 理事・教務部長/モデレーター: 東武トップツアーズ人事総務部能力開発室長・山科ほと氏/パネラー: ANAセールズ総務人事部総務人事課 矢羽田雅和マネージャー、ジェイティービー人事部 山内浩世人財育成担当マネージャー、ジャルパック人事総務部 鈴木健司人事総務グループ長、名鉄観光サービス総務部 吉田雅子 課長/会場: セミナールーム6 東5ホール2階 商談室(4)/時間: 13:00～15:00/収容人数: 28人

テーマ別シンポジウム(海外・国内・訪日)

外部団体との連携でイノベーション・セミナーも

「ツーリズムEXPOジャパン (TEJ) 2017」では9月22日、東京ビッグサイトの会議棟で、海外・国内・訪日旅行のテーマ別シンポジウムと外部団体との連携によるツーリズム・イノベーション・セミナーが開催されます。

テーマ別シンポジウム

海外旅行シンポジウム

ホームページや直販による販売競争が激化の中で、消費者が海外旅行に何を求めているかを的確に把握することが、海外旅行需要の増加にとって不可欠です。シンポジウムでは、日本を良く知るDESTINEーション側の外国人による視点、商品



昨年のテーマ別シンポジウムの様子

を造成する側のホールセラーとツアーオペレーターとの視点の双方から現状を分析し、新たな顧客ニーズの掘り起こしと市場の拡大を目指します。

◎基調講演「観光局から見た日本の海外旅行マーケット」(メキシコ観光局ギジェルモモエギアルテ駐日代表)

◎パネリスト「日本市場全体の潜在力と地方市場における需要創造の検証」(多様化する海外旅行市場で顧客は新たに何を求めているか)

◎モデレーター「生田亨氏(JTBワールドバケーションズ代表取締役社長)」

◎パネリスト「松本佳晴氏(ワールド航空サービス代表取締役社長) / ビクトー・ロベス氏(クオニイジャパン代表取締役社長) / ギジェルモモエギアルテ氏

◎日時：9月22日(金) 15:30 ~ 17:00
◎場所：東京ビッグサイト会議棟 6階605 / 606会議室

国内観光シンポジウム

アートにより地域魅力を創造した事例などが紹介された後、日本版DMOをどのように形成していくべきかについて、観光資源・情報発信

人材・財源などの観点からパネルディスカッション形式で議論を行います。

◎基調講演「アートによる地域観光振興に向けて」(アートフロントギャラリ：北川フラム代表取締役会長)

◎パネリスト「越後妻有アートトリエンナーレ」及び「瀬戸内国際芸術祭」(総合ディレクター)

◎パネリスト「世界から人が集まるための地域マネジメントとマーケティングを考える」

◎モデレーター「山田雄二氏(公益財団法人日本交通公社観光政策研究部次長)」

◎パネリスト「大西雅之氏(阿寒観光協会まちづくり推進機構理事) / 多田稔子氏(田辺市熊野ツーリズムビューロー会長) / 浅井忠美氏(日本政策投資銀行地域企画部部長) / サラ・マシュー氏(トリップアドバイザーアジア地区DESTINEーションマネジメント部長)

◎日時：9月22日(金) 10:00 ~ 12:00
◎場所：東京ビッグサイト会議棟 6階605 / 606会議室

訪日旅行シンポジウム

訪日旅行シンポジウムでは「欧米豪市場からの誘客強化に向けて」をテーマに、欧米豪市場からの訪日外

国人を増やすために何が求められているかを、外国人の視点からの提言やすずでに欧米豪市場からの旅行者誘致に成功している自治体と民間の事業者の取り組みを紹介し、地域にもたらす意義や効果への理解を深めます。

◎モデレーター「蛭川彰氏(日本政府観光局「JNTO」グローバルマーケティング部長)」

◎パネリスト「クリスチャン・マンテイ氏(フランス観光開発機構「JENEL」マネージャー) / 丸山永二氏(高山市役所海外戦略部長) / 丸山俊郎氏(信州白馬八方温泉しろうま荘支配人)」

◎日時：9月22日(金) 13:00 ~ 14:30
◎場所：東京ビッグサイト会議棟 6階605 / 606会議室

ツーリズムイノベーションセミナー

「サステイナブル」「ユニバーサル」「ラグジュアリー」「ネットワーキング」をキーワードに、セミナーやシンポジウム、フォーラムが開催されます。

◎主催：日本環境教育フォーラム (JEEF)

◎テーマ「持続可能な地域観光開発セミナー」(サステイナブルな地域観光プロモーション成功の秘訣)

◎日時：9月22日(金) 9:30 ~ 12:30

◎場所：東京ビッグサイト会議棟 7階703会議室

ユニバーサルツーリズムシンポジウム

◎主催：JATA障害者差別解消法特別委員会

◎テーマ「心のバリアフリーを促進しよう」

◎日時：9月22日(金) 13:30 ~ 15:00
◎場所：東京ビッグサイト会議棟 7階703会議室

ラグジュアリートラベルセミナー

◎主催：ニューヨークタイムズ

◎内容：日本とアジアの魅力を分析し、世界各国の富裕層をいかに取り込むかを議論

◎日時：9月22日(金) 16:00 ~ 17:30
◎場所：東京ビッグサイト会議棟 7階703会議室

地域活性化ネットワークフォーラム

「どこにでも観光需要はある」

◎主催：2020年オリンピックパリンピックを活用した地域活性化推進首長連合

◎内容：2020年東京オリンピックパラリンピック開催をチャンスと捉え、地域の活性化に向けた具体的な取組を共有する場として実施

◎日時：9月23日(土) 13:00 ~ 15:00
◎場所：東京ビッグサイト会議棟 6階605・606会議室

第3回ジャパン・ツーリズム・アワード

南三陸ホテル観洋が大賞を受賞

JATAと公益社団法人日本観光振興協会、日本政府観光局(JNTO)は、「ツーリズムEXPOジャパン2017」の開催に先立って、「第3回ジャパン・ツーリズムアワード」(審査委員長 本保芳明 首都大学東京 東京工業大学 特任教授)の各賞受賞者を発表しました。

大賞は、株式会社阿部長商店 南三陸ホテル観洋の「『震災を風化させないための語り部バス』による地域交流活性化の取り組み」が受賞。

「2011年の東日本大震災直後から宿泊施設を被災者に提供するなど地域に寄り添い復興への道を開いた」ことに加え、「震災体験を伝えることで防災への意識向上を図っており、震災を風化させないためのたゆまぬ取り組み」が高く評価されています。

大賞を受賞した南三陸ホテル観洋は、「大変に光栄で、私たちの思いを今後とも発信し



震災体験を伝える語り部活動が線と絆を結んでいます

ていくための大きな励みになり、心から感謝申し上げます。震災体験を伝える語り部活動は、国や世代を超えて地域の歴史や文化を未来に伝え、多くの方が現地を訪れる契機として、地域の交流人口拡大や縁と絆を結んでいます」とコメント。「大賞受賞の栄誉を胸に『層地域の発展に努めてまいります』と将来にわたる活動の継続へ決意を示しています。

ジャパン・ツーリズムアワードは、ツーリズム業界の発展・拡大に貢献し、「ツーリズムEXPOジャパン」のシナジー効果に寄与する取り組み、または、国内・海外の団体・組織・企業を持続可能で優れた取り組みを表彰するものです。

「第3回ジャパン・ツーリズムアワード」各賞の表彰式は9月21日、「ツーリズムEXPOジャパン2017」会場で開催されます。

受賞企業・団体

◎大賞

株式会社阿部長商店 南三陸ホテル観洋(宮城県) Ⅱ「震災を風化させないための語り部バス」による地域交流活性化の取り組み

◎国内 訪日領域

◎領域優秀賞

◎努力賞 日本航空株式会社 (地域部門)
 ◎部門賞 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ/福島県/公益社団法人びわ湖大津観光協会/特定非営利活動法人おおきみまるごとツーリズム協会/スタービレッジ阿智誘客促進協議会/一般社団法人うるま市観光物産協会/一般社団法人草津温泉観光協会/株式会社よしもとラフ&ピース/一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社/一般社団法人アレキア対応
 ◎審査委員会特別賞 青森県岩手県宮城県秋田県山形県福島県の東北6県並びに一般社団法人東北観光推進機構

◎審査委員会特別賞 青森県岩手県宮城県秋田県山形県福島県の東北6県並びに一般社団法人東北観光推進機構

◎部門賞 株式会社ミキツーリス ト/東京グレートツアーズ/佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター/株式会社諏訪田製作所/有限会社 杜森の国/富士山登山学校/こうりき/有限会社ワックジャパン/おんたけアドベンチャー/京王電鉄株式会社/ハウスステンボス株式会社/変なホテル事業開発室/くまの体験企画/ピッキオワイルドライフリサーチセンター/ゆつくりずむ北海道/株式会社JTBメディアリテリಂಗ/クラブツーリズム株式会社/江ノ島電鉄株式会社/東日本旅客鉄道株式会社/SATOYAMA EXPERIENCE/東日本旅客鉄道株式会社

◎奨励賞 エンジンハードウェア株式会社/株式会社帝国ホテル

◎海外領域

◎海外領域

◎領域優秀賞 株式会社JTBワールドバケーションズⅡハワイにおける顧客利便性の圧倒的拡大を目的とした「OLE I.O.L.I」ブランドの確立とマーケティングに正対した独自のインフラサービスの継続的開発

◎部門賞 株式会社アサヒトラベル インターナショナル/株式会社エイチアイエスユニバーサルツーリズム デスク/関西エアポート株式会社/株式会社ジェイティービー/プリンセスクルーズジャパンオフィス&株式会社カーニバルジャパン/フランス観光開発機構

◎奨励賞 株式会社ナビタイムジャパン
 ◎努力賞 株式会社JTB首都圏ロイヤルロード銀座ロイヤルロードデスク
 ◎部門賞 エストニア政府観光局/ラトビア投資開発公社/リトアニア政府観光局/ケニア共和国大使館&ケニア政府観光局/MEXICOTOURISM BOARD
 ◎奨励賞 Kaunas IN (リトアニア)

◎UNWTO部門賞 全国産業観光推進協議会 Ⅱ 地域産業を観光素材として交流人口拡大へ持続的な取り組み

◎海外領域

◎海外領域

◎海外領域

◎海外領域

◎UNWTO部門賞 全国産業観光推進協議会 Ⅱ 地域産業を観光素材として交流人口拡大へ持続的な取り組み